

積算資料5月号(4月20日発売)

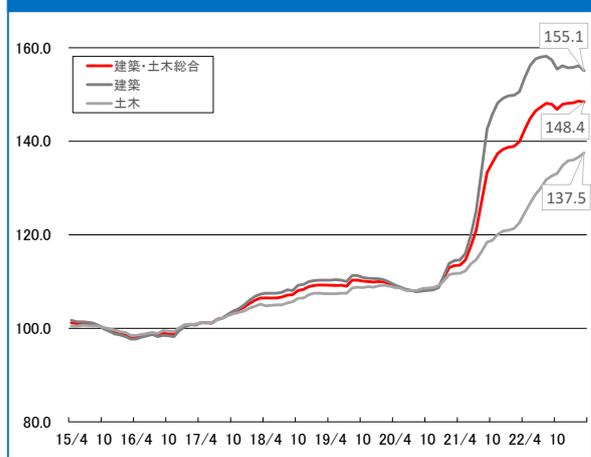
積算資料速報レポート 主要資材の価格動向

建設資材価格指数が5カ月振りに下落 ~5月号は建築用木材、型枠用合板が続落~

1. 建設資材価格指数の推移 (<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/index.html>)

積算資料5月号掲載予定の建設資材価格指数(全国・3月調査に基づき算出)は、建築・土木総合で148.4と前月を0.2ポイント下回った。前月比マイナスとなるのは昨年10月調査以来5カ月振り。3月調査では異形棒鋼やストレートアスファルト等が上昇したものの、建築用木材や型枠用合板が全国的に続落しており、総合指数は小幅に下落した。指数を建築、土木別にみると、木材市況下落の影響を受けた建築指数は前月比-1.0ポイントで総合指数を押し下げる要因となっている。一方、土木指数は鋼材やコンクリート二次製品の騰勢を受け前月比+0.9ポイントとなった。これで土木指数は31カ月連続で上昇したことになり、2年半を超える異例の長期上昇が続いている。結果的に、総合指数は建築と土木の差が縮小する形で横ばい局面となっており、建設資材価格は、総じて高止まり傾向が強まっていると言えよう。

建設資材価格指数(全国・2015年度平均=100)

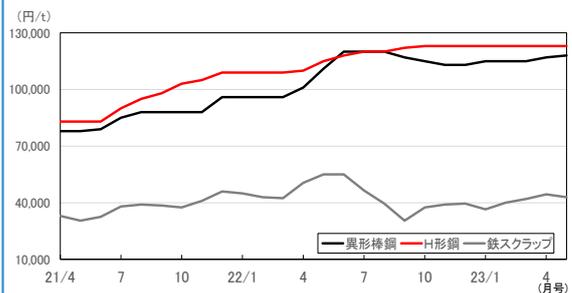


2. 速報 積算資料5月号(4月調査) 主要資材の価格動向(東京地区)

品名/規格	単位	価格(円)	前月比(変動率)	先行き
異形棒鋼 SD295・D16②	t	118,000	+1,000円 (+0.85%)	➡
H形鋼 200×100×5.5×8mm SS400②	t	123,000	0円 (±0%)	➡
鉄スクラップ H2	t	43,000	-1,500円 (-3.37%)	➡
セメント 普通ポルトランド(バラ)	t	12,800	0円 (±0%)	➡
生コンクリート 21-18-20 東京17区	m ³	18,200	0円 (±0%)	➡
再生クラッシュラン 40~0mm・東京17区	m ³	1,200	0円 (±0%)	➡
コンクリート型枠用合板 無塗装品7712×900×1800mm	枚	2,000	-100円 (-4.76%)	➡
杉正角材(KD) 3.0m×10.5×10.5cm 特1等	m ³	90,000	-2,000円 (-2.17%)	➡
軽油 ローリー渡し	kℓ	119,000	+1,500円 (+1.28%)	➡
ガソリン スタンド渡し レギュラー	ℓ	149	0円 (±0%)	➡
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	t	9,800	0円 (±0%)	➡
ビル用アルミサッシ 引違い窓 70mm 1400×1200mm	窓	16,100	+1,900円 (+13.4%)	➡
板ガラス(フロート板ガラス) FL5 5mm 2.18m ² 以下 特寸	m ²	2,300	0円 (±0%)	➡
C V ケーブル 600V 3心 38mm ²	m	1,824	0円 (±0%)	➡
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管(VP) 呼び径50mm	本	1,640	0円 (±0%)	➡

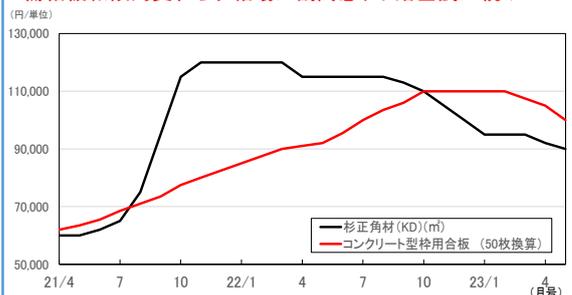
鋼材

電力料等コスト増の価格転嫁進み異形棒鋼は1,000円上昇



杉正角材・コンクリート型枠用合板

需給緩和傾向変わらず相場に割高感、下落基調が続く



石油製品

販売業者の仕入れコスト上昇を背景に軽油は1,500円上昇

